

株式会社渡辺電設

建設業

代表取締役 渡辺 好美 (わたなべ よしみ)

Profile > 昭和19年3月生まれ。73歳。地域でいち早く太陽光発電設備設置業者として事業を開始し、順調に売上を拡大。盤石な企業体制を築き、現在では公共事業も多数手がけている。国内外の支援活動、社会貢献にも積極的。

準備万全で時代の変化に即対応

弊社が太陽光発電施設事業に着目したのは平成22年、1年間かけて社内勉強会を行いました。

その後、東日本大震災があり、政府が太陽光の買取制度を始めたのを機に、太陽光発電施設事業を本格的にスタートさせました。それ以前は、建築会社の下請として電気工事を行っていましたが、35歳の時、下請のままでは安定した未来はない、と元請として事業を展開できるよう、大きく軌道修正したのです。そこで勉強を進めるうちに出合ったのが太陽光でした。

運よく政府が太陽光を後押しする前から準備を進めていたため、地域でもいち早くこの事業に着手できました。仕入についても、問屋に取り扱ってもらえなかった海外メーカーとの直接取引を行い、流通コストをカット。その分、お客様への還元や、自社の利益確保につながり、売上規模は以前の6倍まで拡大しました。

一方で、事業が大きく成長しても変わらないこともあります。それは社員の数。弊社は以前より15名体制で、売上が大幅に伸びた今でもそれは変わりません。もちろん工事や現場作業は、協力会社と一緒にしていますが、設計から提案まですべて社内にて一括管理。スピードとコストパフォーマンスの面からも、多くのお客様から支持されています。

社員、社会を支え続けていく

弊社が何よりも大切にしているのは、事業を支えてくれる社員です。ボーナスは年3回、退職金は51歳で払います。定年退職は59歳ですが、本人の希望によって給与形態が変わることなく65歳まで働くことができます。そのため退職する社員は一人もいません。51歳でいったん退職金を払うのは、家のローンや子どもの教育費などでこの年代が一番、お金が必要な時期であるため、会社として少しでもサポートしたいという想いからです。

これは社会に対しても同じこと。弊社では毎年数千万円の寄付活動を続けており、熊本地震への寄付、ブータンへの太陽光発電設備設置など社会に貢献できることは精一杯やらせていただいています。

みんなが笑顔になれる事業を

今後の事業展開として、公共事業を弊

社が支援しながら行う形で進めています。平成27年には栃木県の道路灯を水銀灯からLED電球に変えることを弊社が提案。これにより県は年間電気代を6割削減できることになりました。その工事にかかる費用30億円は、弊社を中心としたいくつかの会社からなる組合で融資し、10年かけて県から返済していただきます。このように今、地方自治体は財政的に困窮し、病院や学校の建替など大きな公共工事ができない状況にあります。そこで弊社が融資し、自治体にリースすることで協力していきたいと考えています。このビジネスモデルによって、自治体は大きな費用を準備することなく公共事業が進められ、弊社もまた長期にわたって安定した収入を確保することができます。

ビジネスというのは、お客様に喜んでいただける状況をご提供すれば、途絶えることはありません。我々はすべての方々と笑顔でつながるビジネスを今後も進めていきたいと願っています。



太陽光システムが設置されている2.5万坪の広大な敷地。広すぎて草刈りを人の手で行うのが難しいため、ヤギ13匹、エミュ4匹に伸びた草を食べてもらうことで、敷地が荒れるのを防いでいます。

株式会社渡辺電設 TSR企業コード: 26-015197-1

所在地: 〒326-0845 栃木県足利市大前町763

TEL: 0284-62-2498 URL: <http://watanabe-ashikaga.com/>

創業: 昭和39年4月 事業内容: 栃木県、群馬県、埼玉県を中心に電気工事、空調工事、設備工事、開発工事、太陽光発電、メガソーラー事業などを展開。



太陽光事業を基軸に 地域・社会を支える